

## アプリケーションカタログ

### たまご(黄身)中の食塩分の測定

関連業界	:	食品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/沈殿滴定
関連規格	:	JAS (日本農林規格)

#### 1. 概要

一般的に塩化ナトリウムの定量は、モール(Mohr)法に従って測定を行う。

試料を正確に採取して純水で希釈したものを電位差自動滴定装置を使用し、0.1mol/L 硝酸銀溶液を用いて当量点まで滴定する。その滴定量を塩化ナトリウム量に換算して食塩分を求める。当量点は滴定曲線の最大変曲点である。

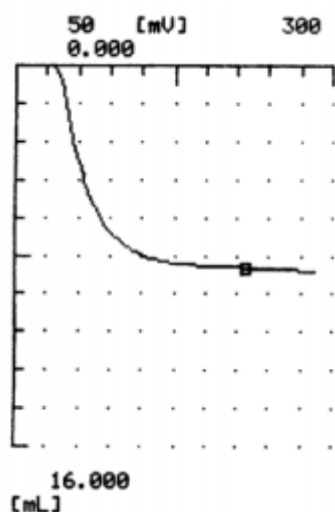
#### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	複合銀電極

#### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 硝酸銀溶液
滴定溶媒	:	純水
添加試薬	:	1.0mol/L 硝酸(サンプルが塩基性の場合に酸性になるまで添加)

#### 4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	塩分 (%)
1	0.5133	8.5100	9.7081
2	0.5130	8.5134	9.7177
3	0.5176	8.5704	9.6958
Average			9.7072
S.D.			0.0110
R.S.D.			0.1131

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>